

当協会では、2017年9月27日に入社後半年間が経過した新入社員を対象として、現状の振り返りと新たな目標に向けて高い意欲を持って働く人材へと成長していただくことをねらいに、「新入社員フォローアップ研修」(当協会主催、初開催)を開催した。当研修参加者58名(27社より男性35名、女性23名)を対象に、入社半年間での自己採点や自身の成長度、また、入社時と現在の意識の変化などについて「意識調査」を実施した。研修参加者全員から回答を得て、「新入社員意識調査(フォローアップ編)」をとりまとめた。

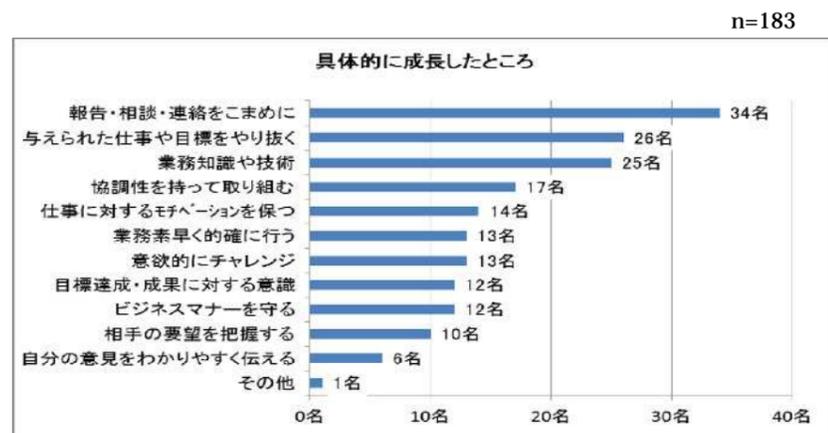
問1. 入社から半年間経って、自身の成長度を自己採点してください。

自己採点では、60点が27名と最も多く、次いで40点が20名、80点と20点が各4名、100点満点は1名、0点は0であった。平均点は52点で、控えめな自己採点結果であった。



問2. 自身の成長度は、具体的にどの部分が成長した・身に付いたと思いますか?(複数回答)

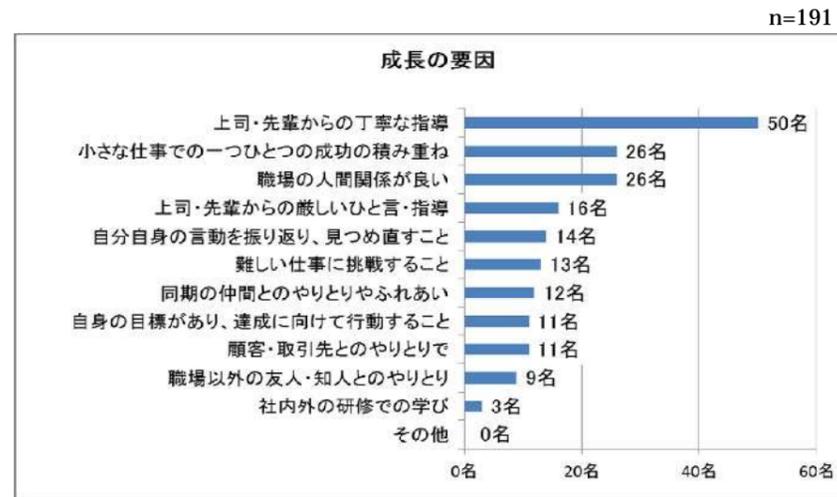
「報告・相談・連絡をこまめに」が34名と最も多く、次いで「与えられた仕事や目標をやり抜く」が26名、「業務知識や技術(テクニカルスキル)」が25名、「協調性を持って取り組む」が17名、「仕事に対するモチベーションを保つ」が14名、「業務を素早的確に行う」と「意欲的にチャレンジ」各13名などが続いている。「ハウレンソウ」、「与えられた仕事をやり抜く」などの社会人としての基本や「業務知識・技術」といったテクニカルスキルの成長を多く実感している結果となった。



問3. 「成長の要因」はどのようなことだと思いますか?(複数回答)

「上司・先輩からの丁寧な指導」が50名と最も多く、86.2%の方がそう感じている。次いで「小さな仕事での一つひとつの成功の積み重ね」と「職場の人間関係が良い」が各26名、「上司・先輩からの厳しいひと言・指導」が16名、「自分自身の言動を振り返り、見つめ直すこと」が14名、「難しい仕事に挑戦すること」が13名、「同期の仲間とのやりとりやふれあい」12名などが続いている。

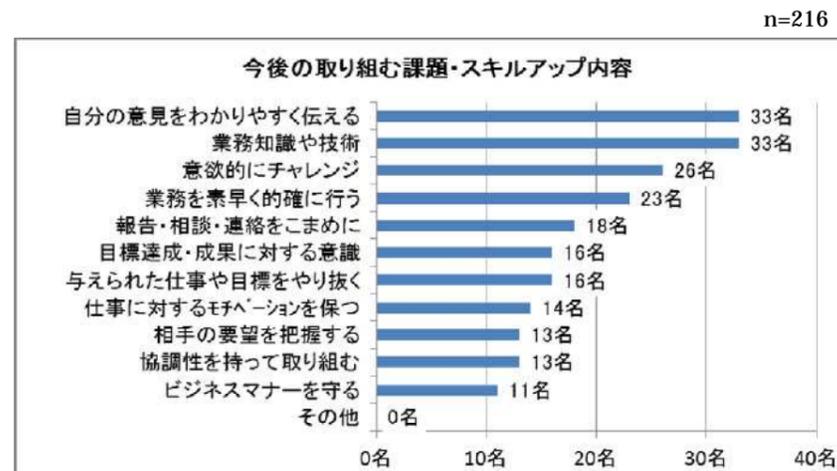
上司・先輩の指導、良い職場の人間関係等を通して社会人としての成長を実感していることが窺える。



問4. 今後、取り組む課題、スキルアップしたい内容は?(複数回答)

「自分の意見をわかりやすく伝える」と「業務知識や技術」が各33名と最も多く、次いで「意欲的にチャレンジ」が26名、業務を素早的確に行う」が23名、「報告・相談・連絡をこまめに」が18名と続いている。

問2の成長度で低かった「自分の意見をわかりやすく伝える」や「業務を素早的確に行う」といった業務遂行スキルと、また「業務知識や技術」などのテクニカルスキルをアップしたいという声が多かった。



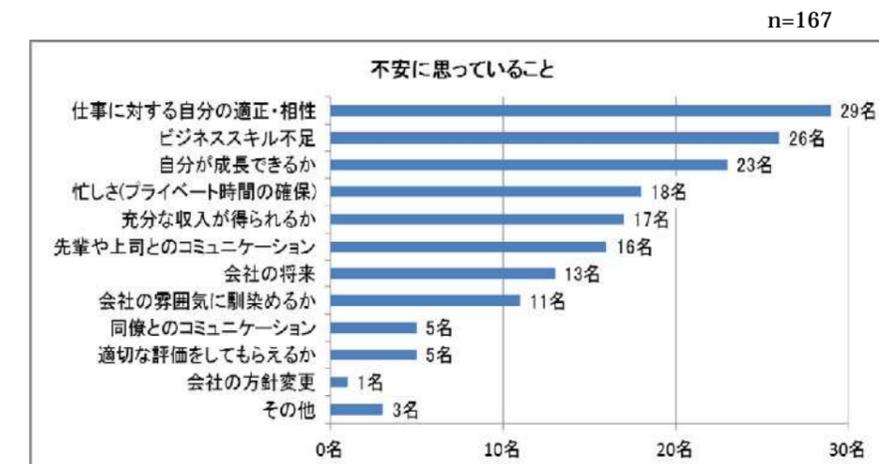
問5. 現時点で成長の阻害要因があるとすれば、どのようなことですか?(複数回答)

「将来のビジョンがうまく描けていない」が39名と最も多く、次いで「上司や先輩に相談しにくい」が12名、「自分の強みを活かせる機会が少ない」「職場に成長を促進させる風土が薄い」「自身に成長しようという意識が薄い」が各9名と続いている。



問6. 現在、不安に思っていることは?(複数回答)

「仕事に対する自分の適正・相性」が最も多く29名、次いで「ビジネススキル不足」が26名、「自分が成長できるか」が23名、「忙しさ(プライベート時間の確保)」が18名、「十分な収入が得られるか」が17名、「先輩や上司とのコミュニケーション」16名などが続いている。

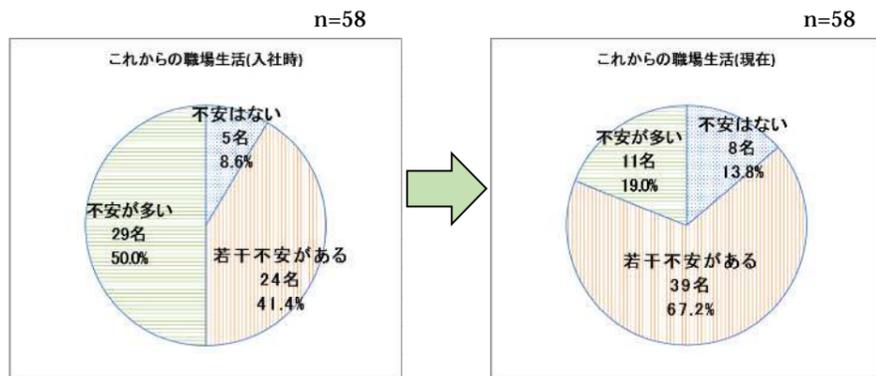


(表面の続き)

問7以降は、入社後半年間が経過しての心境の変化等を調査するため、「入社時の思い」と「現在の思い」を回答してもらった。

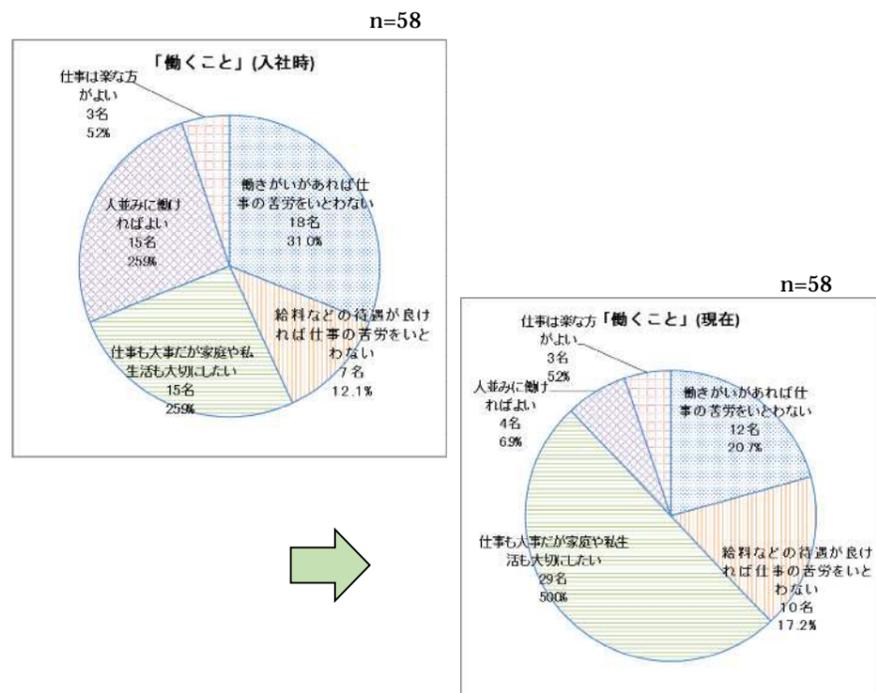
問7. これからの職場生活に対する思いは？

「不安はない」は入社時が5名(8.6%)であったが、半年が経過した現在は8名(13.8%)と約3ポイント増えた。一方で「不安が多い」は入社時が29名(50.0%)、現在は11名(19.0%)と約18ポイントも減少した。ただし、その減少分は「若干不安がある」に移動したもので、「不安」の程度が若干少なくなったという結果であった。



問8. 「働くこと」について自分の考えに近いものは？

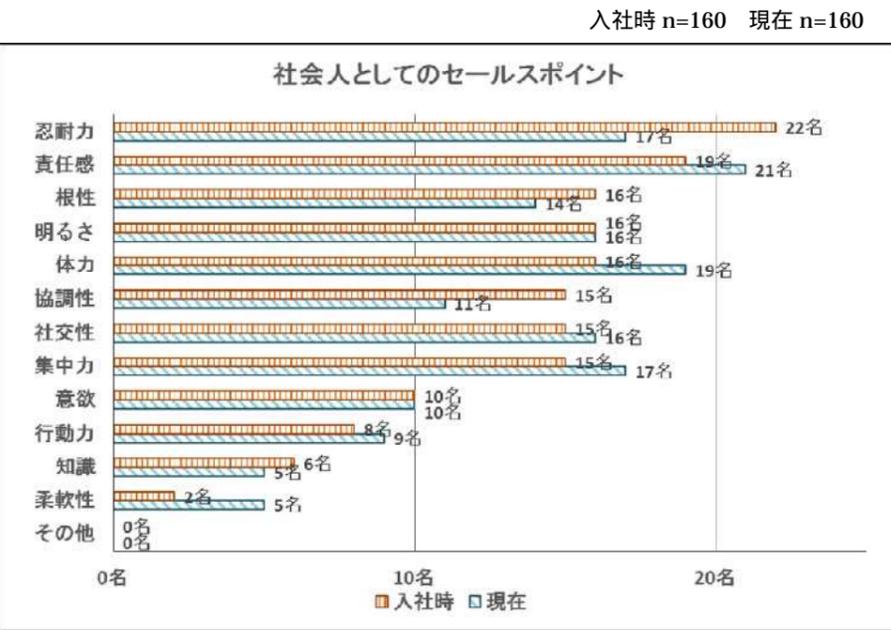
半年間が経って大きく変化があったものは「仕事も大事だが家庭や私生活を大事にしたい」で、入社時が15名(25.9%)であったが、現在は29名(50.0%)とほぼ倍増した。「働きがいがあれば仕事の苦勞をいとわない」が約10ポイント減少し、「人並みに働ければよい」も約19ポイント減少した。



問9. 社会人としての自身のセールスポイントは？(3つまで選択可)

下表の「忍耐力」～「意欲」までが入社時、現在のいずれも10名以上がセールスポイントとしている。

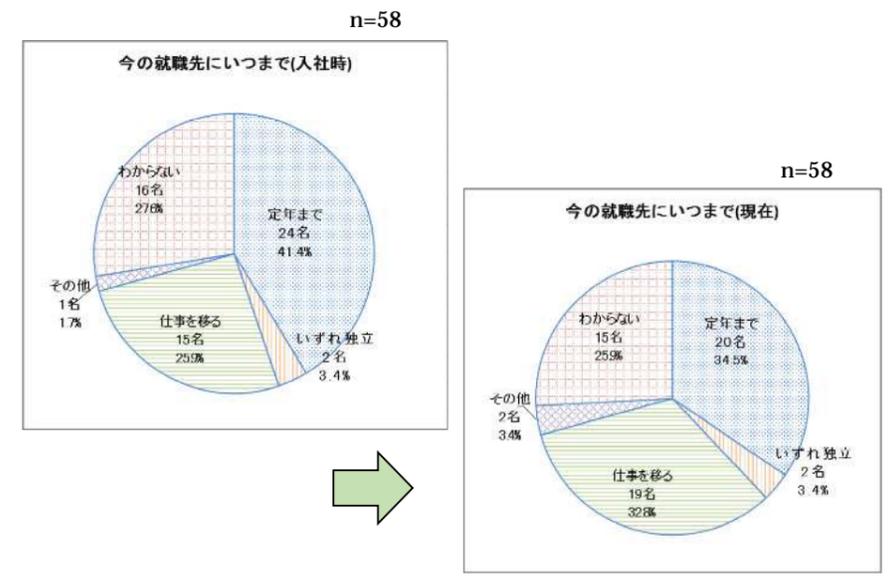
半年間が経って増えた主な項目は「責任感」(入社時19名 現在21名)、「体力」(16名 19名)、「柔軟性」(2名 5名)などであった。一方、減った主な項目は「忍耐力」(22名 17名)、「協調性」(15名 11名)などであった。



問10. 今の就職先でいつまで働こうと思いますか？

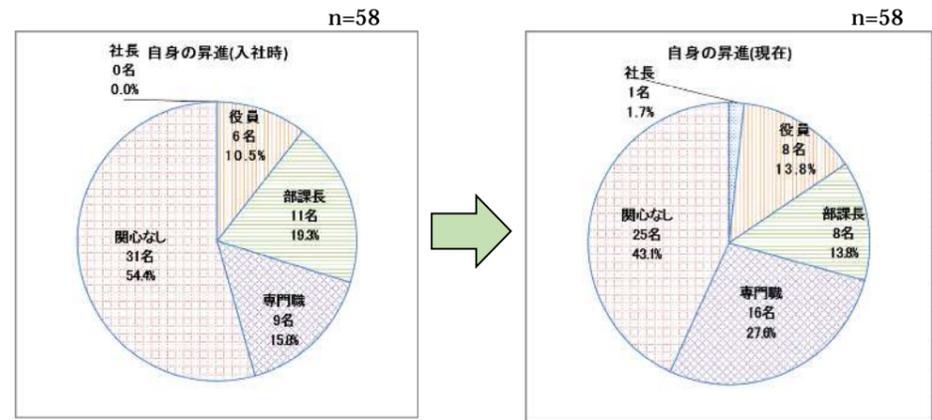
「定年まで」は、入社時が24名(41.4%)だったが、現在は20名(34.5%)と約7ポイント減少した。一方、「仕事を移る」は、入社時が15名(25.9%)だったが、現在は19名(32.8%)と約7ポイント増加した。

今年4月に実施した「新入社員意識調査」の同質問において、「仕事を移る」「いずれ独立」「家業を継ぐ」の合計が25%と、アンケート開始以来(2012年から実施)で最も高い割合であったが、それをさらに上回る結果となった。



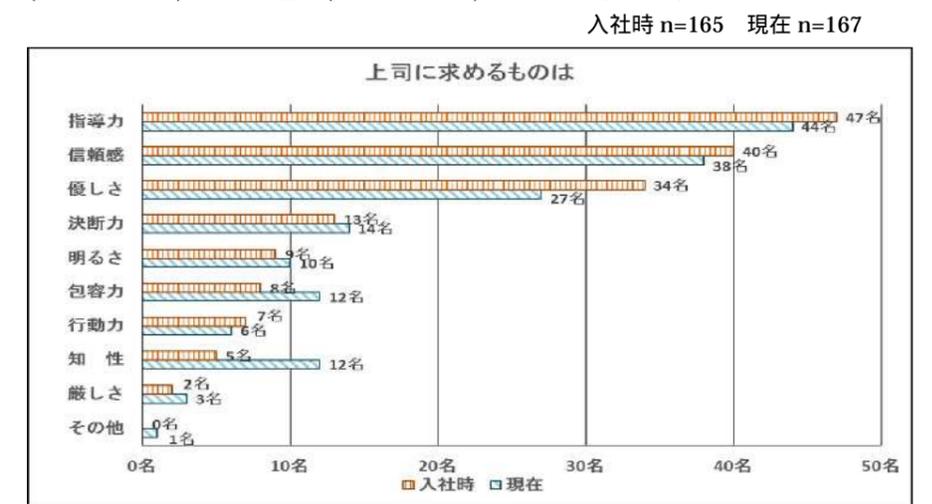
問11. 自身の昇進について、どこまで目指しますか？

入社時と比べて増えたのは「社長」(0名 1名)、「役員」(6名 8名)、「専門職」(9名 16名)であった。一方、入社時と比べて減ったのは「部課長」(11名 8名)、特に「関心なし」は31名 25名で約11ポイントの減となった。半年間が経って、若干ではあるが自身の昇進にも関心を示す結果となった。



問12. 上司に求めるものは？

入社時も現在も「指導力」「信頼感」「優しさ」「決断力」が上位を占めている。「優しさ」が入社時34名 現在27名と減った反面、「包容力」(8名→12名)と「知性」(5名→12名)が増加となった。



まとめ

- ・社会人として半年間が経って、上司・先輩の指導、良い職場の人間関係等を通して社会人としての成長を実感している。
- ・また、「仕事に対する自分の適正・相性」や「ビジネススキル不足」などの不安を抱えながらも、今後の取り組む課題・スキルアップしたい内容も認識しており、今後の更なる成長が期待できる。
- ・「今の就職先でいつまで」の間に、約36%が仕事を移る、いずれ独立すると回答した。また、「働くこと」について、「仕事も大事だが家庭や私生活を大事にしたい」との考えが半数あり、人材確保や職場定着を考える上で、金銭面での処遇改善のほかにも「働き方改革」を通して長時間労働の是正や柔軟な働き方がしやすい職場環境の改善が求められていると思われる。

以上